

問 公約で掲げた医師確保はいつになれば示されるのか。

答 多くの関係機関を訪問し、新たなつながりを構築できたが、解決困難な問題が多く、現状分析や課題整理が必要。引き続き情報の発信と収集に努める。



改正食品衛生法について

問 令和6年5月までに改正食品衛生法の基準を満たす施設を整備しなければ、漬物の製造・販売をすることができなくなるが、本市への影響は。

答 昨年6月の改正に伴い、周知や説明を行っているが、漬物を製造・販売している方の多くは、これを機に販売をやめる意向を示している。なお、本市の事業で漬物製造の施設整備も対象とした支援制度があり、1件の活用事例がある。

小規模水道組合の機能充実に

問 人口減少や管理者の高齢化などにより、長期的な維持管理が難しくなることが考えられるが、補助や支援等の考えはないか。

答 組合員が維持管理作業を行うことにより、水道料金を安価に設定しているところが多い。今後、組合員の減少や高齢化などにより、維持管理を業者等に委託することになれば、現行料金では不足が見込まれ、料金形態を見直し、積み立てするなどの対応も必要となる。維持管理を支援する新たな補助制度の創設なども検討することになると考えている。

質問した項目

- 災害対応について
- 鹿角市2030ゼロ・カーボンシティ宣言について
- 図書館について
- キャンプブームについて ほか



録画配信はこちらから

館花 一仁 議員（鹿真会・公明）

質問時間 60分

問 新型コロナウイルス陽性者で、発生届対象外の自宅療養者の把握はできているか。

答 秋田県では市町村別の感染者数が公表されていないため、居住地の把握は困難であり、今後とも状況は変わらなと捉えている。



奨学金制度について

問 返済を不要とする奨学金制度創設の検討状況は。

答 奨学金の貸付は、奨学資金貸付基金により貸付金と返還金の収支の基金残高の範囲内で運用する制度のため、返済不要の制度創設には課題が多い。しかし、将来地元に戻り、地域に貢献しようという意識の動機付けや移住・定住に結びつけることも必要であるため、今年度から実施している「市奨学金返還助成事業」の成果

風流踊のユネスコ無形文化遺産登録について

問 4つの世界遺産を今後どう活かしていくのか。

答 第7次総合計画の経営戦略に「世界遺産のまちづくり」を掲げ、その中の施策の一つとして「ヘリテージ・ツーリズム」を推進してきた。世界に誇る4つの資源を活かした観光の柱として、着地型旅行商品の造成や受入体制の整備などを進めるとともに、後継者の育成や史跡の保存整備に努めながら、国内外からの観光誘客につなげていく。



録画配信はこちらから

成田 哲男 議員（誠心会）

質問時間 30分

質問した項目

- 新型コロナウイルスについて
- 鹿角小坂地区統合校について
- 保健事業について ほか

答 奨学資金貸付基金により貸付金と返還金の収支の基金残高の範囲内で運用する制度のため、返済不要の制度創設には課題が多い。

しかし、将来地元に戻り、地域に貢献しようという意識の動機付けや移住・定住に結びつけることも必要であるため、今年度から実施している「市奨学金返還助成事業」の成果

答 第7次総合計画の経営戦略に「世界遺産のまちづくり」を掲げ、その中の施策の一つとして「ヘリテージ・ツーリズム」を推進してきた。

世界に誇る4つの資源を活かした観光の柱として、着地型旅行商品の造成や受入体制の整備などを進めるとともに、後継者の育成や史跡の保存整備に努めながら、国内外からの観光誘客につなげていく。